

## 第8章 緑化重点地区



大野原屋外運動場のクワ

## 第8章 緑化重点地区

### 8-1 緑化重点地区とは

緑化重点地区\*は、都市緑地法に基づき、緑の基本計画で設定する「緑化地域以外の区域であって重点的に緑化の推進に配慮を加えるべき地区」で、その地域内で講じる緑化施策等を即地的に定めるものである。一定の地区を指定し、緑の基本計画が目指す姿をモデル的に具体化し、市民や企業、NPO、行政が連携し、公園緑地の整備や公共公益施設、民間施設の緑化などを総合的かつ効果的に図るものである。 ※緑化重点地区の詳細は資-11 参照

### 8-2 緑化重点地区の指定

嬉野市は、長崎街道と塩田川沿いに栄えた宿場町（嬉野宿・塩田宿）を基盤とする2つの中心となる市街地を有している。

嬉野宿は嬉野湯宿とも呼ばれていたが、長崎奉行の常泊の宿場にもなり本陣として利用されていた瑞光寺が現在も残る歴史のある町である。

「嬉野地区の中心市街地」は、温泉街を中心に旅館や商店など商業系機能に重点を置いた整備が進んだため密集した市街地形態をなしており、市民のみならず観光客がほっと落ち着くことが出来る市街地環境の整備が課題となっている。

また近年、「嬉野地区の中心市街地に隣接する東側の地区」では土地区画整理事業による新しい市街地が整備され、新幹線駅の計画も進められるなど、良好な商業・住宅環境の整備や新たなまちの顔づくりが課題となっている。

一方、「塩田地区の中心市街地」は、農山村地域を背景に発展してきたことから、市役所・中学校・公園等の公共施設がコンパクトに集積した市街地を形成している。

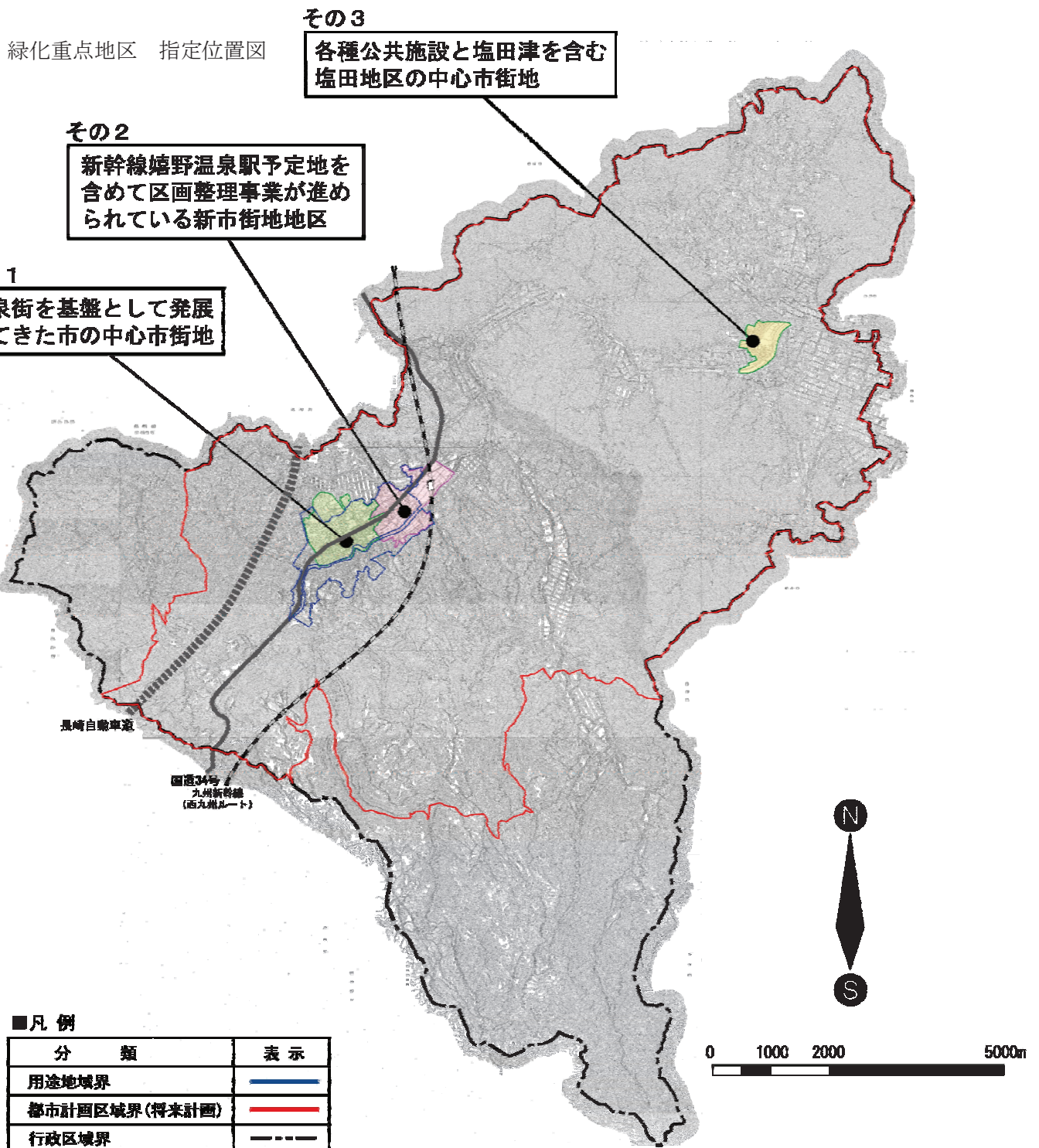
合併を機に、この場所に新たな社会文化会館の建設や中学校の改修整備等、中心市街地の一体的な再整備が計画されていることと、宿場としてだけでなく物資の集散所として栄えた地域の歴史・文化資産として伝統的建造物群保存地区に指定された塩田津があることから、新たな市街地整備に合わせた良好な環境創りや観光面での活性化が課題となっている。

上記の課題と、緑の基本計画ハンドブックで示された緑化重点地区設定基準との整合も確認して、次頁の環境整備を必要とする主要な3ヶ所の市街地部分を、嬉野市における緑化重点的地区として設定した。

その1：嬉野地区で、市役所（嬉野庁舎）があり温泉旅館などの商業施設が密集する、**温泉街を基盤として発展してきた市の中心市街地**

その2：嬉野地区の中心市街地の東側に隣接する、**新幹線嬉野温泉駅予定地を含めて区画整理事業が進められている新市街地**

その3：塩田地区で、観光拠点となる塩田津やレクリエーション拠点となる公園があり、市役所（塩田庁舎）周辺において中学校のリニューアルや新たな社会文化会館などの公共施設整備が計画されている、**各種公共施設と塩田津を含む塩田地区の中心市街地**





## (1) 緑化を重点的に進める地域—その1：温泉街を基盤として発展してきた市の中心市街地

### ①地区の概況

当地区は観光拠点である嬉野温泉街を中心とした地区で、建物が密集しているところである。温泉街のメインストリートは歩道こそ整備されているものの、植栽等の緑化するスペースもなく、緑の少ない通りとなっている。その中で際立つ緑が西側の老舗旅館の外構の植栽で、市街地の緑量のある緑として、豊玉姫神社や瑞光寺の社寺林や街区公園の緑と同様に貴重な緑となっている。そのほか、温泉街の一角に設けられた「湯遊広場」は観光客との交流のできる足湯の広場で、憩いの場として利用されている。

また当地区の南側の塩田川沿いに整備された「さくらロード」は、春にはウォークラリー等のイベントも開催され、水辺の憩いの場としても活用されている。

観光地でもあるこの地区には観光客も多く訪れる場所であり、緑化を図る意義は大きく、積極的な緑化による住民の快適な都市環境の形成とともに、観光客へのもてなしの緑の空間形成も期待される地区である。





## ②課題の整理

当地区の課題は以下のように整理される。

- 温泉街のメインストリートや周辺商店街に緑が少ない。
- 少しでも緑を増やすためには、オープンスペースや空地を利用した緑地・広場の拡充が必要。
- 今後、新しく整備する新幹線「嬉野温泉駅」からの観光客の温泉街への誘導を促すような緑のネットワークが必要。

## ③緑化の基本方針

現況と課題を踏まえ、当地区の緑化については以下のような基本方針とする。

### 基本方針

#### 拠点の緑化…

- 温泉街は、旅館や商店街の協力による緑の演出を図る。
- 市街地整備事業が済んでいない旧市街地は、オープンスペース等を利用した借地公園等の制度を活用し、緑地整備等の推進を図る。
- 公共施設や民間施設のファサード等、積極的な緑化を推進する。
- 嬉野らしさを感じる、特徴ある街角のポケットパーク(足湯広場)などをさらに展開していく。
- 市街地に残る溜池や社寺林等、良好な緑地空間の保全を検討する。

#### 骨格軸の緑化…

- 国道 34 号は主要な緑のネットワーク軸として位置付け、街路樹の維持管理を、市民の協力を得ながら継続的に行っていく。
- 温泉街のメインストリートは、当面歩車共存の遊歩道として活用するが、将来的に歩行者専用道路としての整備を検討していく。

#### 水辺の緑のネット

#### ワークの形成…

- 現在の塩田川沿いに整備されている遊歩道(「さくらロード」)の拡充と延伸を図る。遊歩道沿いは桜並木を整備する。

#### 市民参加による

#### 緑化…

- 西公園・鷹ノ巣公園等の既存公園を主体にした、市民活動による緑化体制づくりと、緑の維持管理活動の展開。



**既存公園緑地の有効活用と市民参加による維持管理**  
西公園（里山の緑）や鷹ノ巣公園（溜池）を、自然観察の場として活用する他、維持管理など市民の緑化活動を奨励するモデル空間として活動を展開していく。

**市街地内の貴重な木などの保全**  
溜池群と周辺の緑地、瑞光寺や豊玉姫神社の杜や林等、市街地内にある良好な環境を形成している緑地群を現状保全することが望ましいことから、風致地区の候補地として選定する。

**病院移転跡地に隣接する公共施設の緑化推進と、その一部分と西公園を一体化した避難地整備**  
病院移転跡地に隣接する産業文化交流施設の適正な緑化を図る。また、隣接する西公園と産業文化交流施設の敷地の一部を合わせた形で、防犯の一時避難地として位置付け、整備する。

**街角の緑化スポットの整備**  
市街地内の街角の空地を活用し、緑野らしい温泉・お茶を嗜みかけた広場や緑のスポットづくりを進めていく。  
**整備事例**  
現在整備された場所以外にも設置を検討していく。

**公共施設の緑化推進と、施設撤去跡地の緑地としての活用**  
バス野舎などの公共施設の緑化を推進する他、保育園・老人ホーム・民間施設撤去跡地を有効に活用して、緑化を検討する。

**緑の骨格となる河川空間の整備・活用**  
塩田川の一部に整備された既設遊歩道をそのまま活かし、堤防や低水敷を利用し、塩田川全体に緑野市の緑の骨格となる遊歩道を整備する。遊歩道整備に合わせて河川沿いに桜の木を植栽し、全体として市を横断する環境・景観軸創りを行う。また、所々に親水空間の整備も行う。



**教育施設空間としての良好な緑の環境づくり**  
教育施設（緑野小学校）やゴミ中継基地の施設条件に合った周辺緑地の保全と、各施設にふさわしい緑化推進を図る。

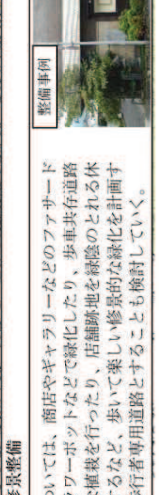
**下宿地区画の整理事業**  
下宿地区画の整理事業を進め、緑地を確保していく。

**溜池周辺の緑地の保全**  
溜池周辺の緑地を保全し、市民の緑化活動を促進していく。

**街角の緑化スポットの整備**  
市街地内の街角の空地を活用し、緑野らしい温泉・お茶を嗜みかけた広場や緑のスポットづくりを進めていく。

**公共施設の緑化推進と、施設撤去跡地の緑地としての活用**  
バス野舎などの公共施設の緑化を推進する他、保育園・老人ホーム・民間施設撤去跡地を有効に活用して、緑化を検討する。

**緑の骨格となる河川空間の整備・活用**  
塩田川の一部に整備された既設遊歩道をそのまま活かし、堤防や低水敷を利用し、塩田川全体に緑野市の緑の骨格となる遊歩道を整備する。遊歩道整備に合わせて河川沿いに桜の木を植栽し、全体として市を横断する環境・景観軸創りを行う。また、所々に親水空間の整備も行う。



**新しい市街地の緑化**  
新たに整備を行った住宅地は、民有地を対象とした緑地協定を締結し、民有地の生垣や庭を整備する形で緑化を推進していく。

**市街地内の貴重な木などの保全**  
溜池群と周辺の緑地、瑞光寺や豊玉姫神社の杜や林等、市街地内にある良好な環境を形成している緑地群を現状保全することが望ましいことから、風致地区の候補地として選定する。

**病院移転跡地に隣接する公共施設の緑化推進と、その一部分と西公園を一体化した避難地整備**  
病院移転跡地に隣接する産業文化交流施設の適正な緑化を図る。また、隣接する西公園と産業文化交流施設の敷地の一部を合わせた形で、防犯の一時避難地として位置付け、整備する。

**街角の緑化スポットの整備**  
市街地内の街角の空地を活用し、緑野らしい温泉・お茶を嗜みかけた広場や緑のスポットづくりを進めていく。

**公共施設の緑化推進と、施設撤去跡地の緑地としての活用**  
バス野舎などの公共施設の緑化を推進する他、保育園・老人ホーム・民間施設撤去跡地を有効に活用して、緑化を検討する。

**緑の骨格となる河川空間の整備・活用**  
塩田川の一部に整備された既設遊歩道をそのまま活かし、堤防や低水敷を利用し、塩田川全体に緑野市の緑の骨格となる遊歩道を整備する。遊歩道整備に合わせて河川沿いに桜の木を植栽し、全体として市を横断する環境・景観軸創りを行う。また、所々に親水空間の整備も行う。



**市街地内の貴重な木などの保全**  
溜池群と周辺の緑地、瑞光寺や豊玉姫神社の杜や林等、市街地内にある良好な環境を形成している緑地群を現状保全することが望ましいことから、風致地区の候補地として選定する。

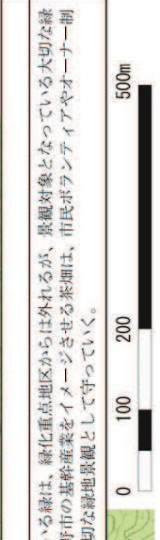
**主要幹線道路の緑の保全、及び観光・景観軸機能をふまえた緑のネットワーク軸の構築**  
主要幹線道路に植栽された既存街路樹は、緑陰の確保や町の品格を形成する機能を有しており、基本的にそのまま保全を図っていく。また、観光ルートや景観軸となっている幹線道路については、必要に応じて景観性に優れた樹種や緑野らしい樹種（茶、桜、藤等）に見直したり、樹木名などの通り名称をつけるなど、市民が親しみやすいネットワーク軸にすることも検討していく。また、緑化されていないネットワークや景観軸を形成する道路は、街路樹を植栽できるように、歩道幅員の取崩や植栽帯の整備を検討していく。

**新たな観光・交流拠点としての緑地空間の整備**  
公共施設移転跡地を、バザーや朝市、温泉祭りや公園祭などの市の祭事、緑野茶の品評会、ゲートボールや少年サッカーのレクリエーション大会、野外コンサートなどの企画・運営をするための受け皿など、多目的に活用できる緑地広場としての整備を検討する。

**街角の緑化スポットの整備**  
市街地内の街角の空地を活用し、緑野らしい温泉・お茶を嗜みかけた広場や緑のスポットづくりを進めていく。

**公共施設の緑化推進と、施設撤去跡地の緑地としての活用**  
バス野舎などの公共施設の緑化を推進する他、保育園・老人ホーム・民間施設撤去跡地を有効に活用して、緑化を検討する。

**緑の骨格となる河川空間の整備・活用**  
塩田川の一部に整備された既設遊歩道をそのまま活かし、堤防や低水敷を利用し、塩田川全体に緑野市の緑の骨格となる遊歩道を整備する。遊歩道整備に合わせて河川沿いに桜の木を植栽し、全体として市を横断する環境・景観軸創りを行う。また、所々に親水空間の整備も行う。



市街地からの景観軸となる緑地の保全  
山林・棚田の茶畑など、市街地の背景となる緑は、緑化重点地区からは外れるが、景観対象となっている大切な緑地として積極的な保全を図っていく。特に、緑野市の基幹産業をイメージさせる茶畑は、市民ボランティアやオーナー制度などの活用により、町のイメージを高める大切な緑地景観として守っていく。



## (2) 緑化を重点的に進める地域—その2：新幹線嬉野温泉駅予定地を含めて区画整理事業が進められている新市街地

### ①地区の概況

当地区は、区画整理事業が現在進められている第七・第八の2地区（平成23年度完了予定）と、九州新幹線西九州ルート（平成29年度完成予定）の嬉野温泉駅を含めた（仮称）新幹線駅周辺土地区画整理事業が計画されている場所で、新たな市街地としての発展が見込まれる地区である。

区画整理事業が完了した第七・第八の2地区では合計4ヶ所の街区公園が整備されており、今後整備される嬉野駅周辺土地区画整理事業内には2ヶ所の街区公園が計画されている。これら6ヶ所の公園が当地区の緑の拠点となる。

また、新しく整備する嬉野温泉駅は本市の新たな玄関口となるため、来訪者を迎える本市の顔として、嬉野市らしい駅および駅前広場の整備が望まれるところである。

新たな市街地となるこの地区は、今後、住宅等も建ち並び、庭木・生垣の緑や街路樹の緑が地区の重要な緑となってくる。住民の積極的な緑化活動と、嬉野温泉駅の緑化を推進することにより、新しい街並みが創り出される地区となる。



## ②課題の整理

当地区の課題は以下のように整理される。

- 新たな玄関口となる新幹線嬉野温泉駅周辺は、来訪者を迎える市の顔となる修景緑化が求められる。また、観光客を新幹線「嬉野温泉駅」から、温泉街や観光拠点へ誘導するための、主要幹線道路の緑のネットワーク整備が必要である
- 市を縦断する塩田川の緑のネットワーク形成が求められている。
- 区画整理事業による新しい市街地においては、幹線道路や宅地内の公園整備において、市民の協力による緑の維持管理が必要となってきた。

## ③緑化の基本方針

現況と課題を踏まえ、当地区の緑化については以下のような基本方針とする。

### 基本方針

- 拠点の緑化**… ○嬉野市の玄関口としてふさわしい、新幹線嬉野温泉駅周辺（駅前広場等）の緑化を推進する。
  - 新たに整備された住宅地における緑地協定等を活用した緑化推進を図る。
- 骨格軸の緑化**… ○国道 34 号は緑の主要なネットワーク軸として、街路樹の維持管理を、市民の協力を得ながら継続的に行う。
  - 計画されている街区公園を、歩道や街路樹のある街路でつなぎ、緑の環境ネットワークの形成を図る。
- 水辺の緑のネットワークの形成**… ○緑の骨格となる塩田川の堤防を桜並木とし、利便性・景観性の向上や、歩車共存の遊歩道として整備する。
  - 区画整理地内の水路沿いの遊歩道・緑化整備を図る。
- 市民参加による緑化**… ○区画整理で整備した街区公園をアドプト制度や公園愛護会を設立するなど、市民活動による緑化管理体制づくりと、緑の維持管理活動を展開する。



**面的整備が行われていない旧集落における緑の確保**

**既存集落の特徴ある緑地空間の将来的な整理**  
 中心市街地に隣接する既存集落地内の茶畑などの特徴ある緑地空間を、将来的に面的整備事業などにより土地の整理統合を行う。当面は郷野らしき茶畑を残したまちづくりを行いながら、遊休農地を借地公園等の制度を活用した緑地として確保するなど、将来的に潤いある市街地が形成できるように検討していく。

**教育施設空間としての良好な緑の環境づくり**  
 立地条件に合った教育施設(郷野高校)に相応しい緑化推進を図る。

**市街地内の水路沿いの遊歩道の整備**

市街地内の風の通り道・緑地軸として、可能であれば並木の整備も含めて、既存の水路を活用した親水広場や水路沿いの遊歩道の整備を検討する。

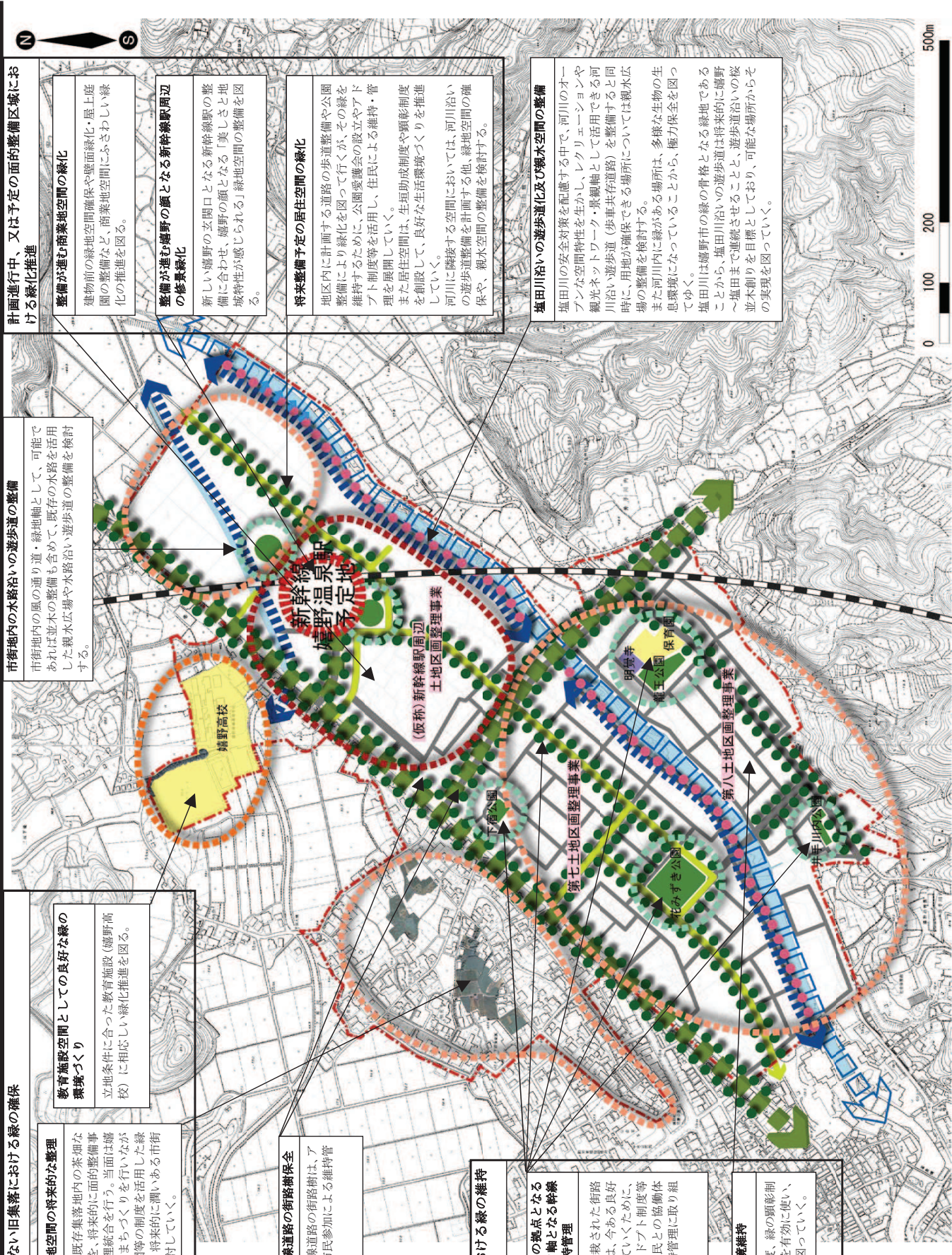
**計画進行中、又は予定の面的整備区域における緑化推進**

- 整備が進む商業地空間の緑化**  
 建物前の緑地空間確保や壁面緑化・屋上庭園の整備など、商業地空間にふさわしい緑化の推進を図る。
- 整備が進む郷野の顔となる新幹線駅周辺の修景緑化**  
 新しい郷野の玄関口となる新幹線駅の整備に合わせ、郷野の顔となる「美しさ」と地域特性が感じられる「緑地空間の整備」を図る。
- 将来整備予定の居住空間の緑化**  
 地区内に計画する道路の歩道整備や公園整備により緑化を図っていくが、その緑を維持するために、公園愛護会の設立やアプト制度等を活用し、住民による維持・管理を展開していく。また居住空間は、生垣助成制度や顕彰制度を創設して、良好な生活環境づくりを推進していく。

**区画整備完了区域における緑の維持管理**  
 地区内に整備された緑の拠点となる公園、緑のネットワーク軸となる幹線道路の街路樹の緑の維持管理  
 地区内道路の歩道に植栽された街路樹や公園の緑については、今ある良好な緑の住環境を維持していくために、公園愛護会の設立やアプト制度等の活用などによって住民との協働体制を確立し、清掃・維持管理に取り組んでいく。

**民有地の良好な緑の環境維持**  
 緑地協定、生垣補助制度、緑の顕彰制度などで、可能な制度を有効に使い、良好な住環境の形成を図っていく。

**塩田川沿いの遊歩道化及び親水空間の整備**  
 塩田川の安全対策を配慮する中で、河川のオーブンな空間特性を生かし、レクリエーションや観光ネットワーク・景観軸として活用できる河川沿いの遊歩道(歩車共存道路)を整備すると同時に、用地が確保できる場所については親水広場の整備を検討する。  
 また河川内に緑がある場所は、多様な生物の生息環境になっていくことから、極力保全を図っていく。  
 塩田川は郷野市の緑の骨格となる緑地であることから、塩田川沿いの遊歩道は将来的に郷野～塩田まで連続させることと、遊歩道沿いの桜並木創りを目標としており、可能な場所からその実現を図っていく。





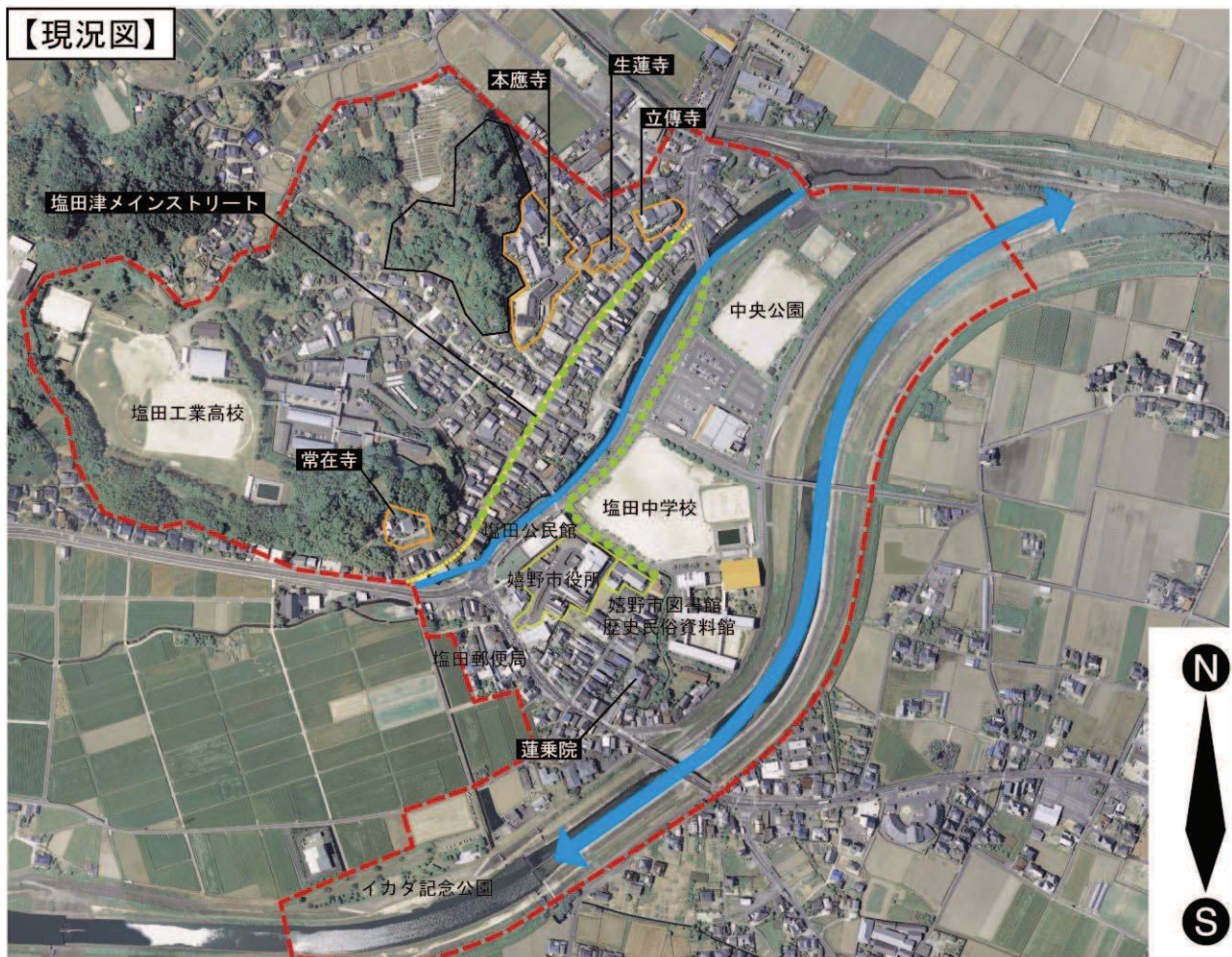
### (3) 緑化を重点的に進める地域—その3：各種公共施設と塩田津を含む塩田地区の中心市街地

#### ①地区の概況

当地区は、旧嬉野町と旧塩田町が合併後、嬉野市役所や中央公民館等の公共機関がある中心地区で、またその近傍には歴史的な建造物が残る塩田津もあり、新と旧が共存する地区である。

塩田地区全体は唐泉山や塩田川、農地、農村集落の住宅の緑等、緑豊かな地域であるが、それらの緑に囲まれた当地区は、周囲に比較すると緑も少なく、船着場の名残を残す浦田川を挟んで、東側に市役所等、西側に宿場町であった塩田津があり、特に塩田津は緑が少ない通りとなっている。しかし背後地には神社仏閣の社寺林もあり、これらを保全し、塩田津の歴史的な空間を維持することが必要である。

塩田津は本市の重要な観光拠点でもあり、当地区の緑化も、もてなしの緑となることが期待される地区である。





## ②課題の整理

当地区の課題は以下のように整理される。

- 塩田地区中心市街地の環境整備が求められている。
- 観光拠点である塩田津において、周辺の建物とのバランス、人の集まる賑やかさを演出する緑が少ない。
- 塩田津の借景となっている社寺林・丘陵地の緑の保全が必要。
- 浦田川は歴史ある水辺空間であり、塩田津との一体化により質の高い緑地空間として整備することが求められている。
- 市を縦断する塩田川の緑のネットワーク形成が求められている。

## ③緑化の基本方針

現況と課題を踏まえ、当地区の緑化については以下のような基本方針とする。

### 基本方針

- 拠点の緑化**・・・ ○新しく整備が進められる社会文化会館やリニューアルされる中学校等の公共施設と、既存市役所・中央公園と一体となった市街地環境緑化を図る。  
○塩田津の歴史・文化拠点として、プランターや桜などの花木による観光を意識した修景緑化を推進する。
- 骨格軸の緑化**・・・ ○国道 34 号は緑の主要なネットワーク軸として、街路樹の維持管理を、市民の協力を得ながら継続的に行う。
- 緑の保全**・・・ ○塩田津の良好なロケーションを形成している背後地の社寺林・民有林を、市民団体との協働や市民緑地制度等を活用して保全をしていく。
- 水辺の緑化**・・・ ○浦田川の水辺空間で、市民と一体となった保全活動を展開すると同時に、フィールドミュージアム的な親水空間のリニューアル整備を計画する。  
  
○塩田川沿いを桜並木とし、歩車共存の遊歩道ネットワークを整備する。



**宿場町として栄えた歴史・文化拠点をふさわしい塩田津の修景・緑化**

宿場町として栄えた塩田津の伝統的建造物群保存地区や物資の集積地風景を再現した「みなと広場」などの、塩田の歴史を体験する空間にふさわしい、修景・緑化及び空間整備を行う。

特に伝統的建造物群保存地区の中を通る道踏は、周辺の建物との調和に配慮した遊歩道（歩車共存道路）として現時点でも整備されているが、広場やアサード（建物正面）の花壇設置など、さらなる修景緑化整備を推進していく。また、塩田津全体をフィールドミュージアム的な公園としての整備を図り、河川の浄化、みなと公園の改修整備など、歴史・文化拠点をふさわしい空間としての整備を検討していく。

**塩田津の借景となつている背後地に分布する樹林地の保全**

歴史的な伝統的建造物群保存地区の背後に分布している民有林一帯を、市民緑地としての保全や、里山保存会やNPO等の住民による維持管理活動、自然体験教室として活用するなどの取り組みにより、樹林地の保全を図る。

歴史的な街並みと一体となつて点在する社寺については、既存の社寺林の保全に努める。

**幹線道路の緑化と維持管理**

良好な市街地環境の形成と歴史文化のある町としての景観づくりを意識した幹線道路の街路樹の整備と、アプト制度の活用による市民参加の維持管理を推進していく。

**既存公園緑地の活用と市民参加による維持管理**

中央公園やイカダ公園は、隣接する塩田川の親水空間の整備と合わせた一体利用や、各種イベントの場として活用すると同時に、維持管理などの市民の緑化活動を実践するモデル空間として積極的な取り組みを展開していく。

**教育施設の良好な環境づくりと急傾斜地の緑の保全**

立地条件に合った教育施設（塩田工業高校）の緑化推進と、急傾斜地の斜面林の保全・育成を図る。

**塩田川沿いの遊歩道整備**

塩田川の安全対策を配慮する中で、河川緑地も含めた形で河川のオーブンな空間特性を活かし、レクリエーション・観光ネットワーク・景観軸として活用できる河川沿い遊歩道（歩車共存道路）を整備する。塩田川は姫野市の緑の骨格となる緑地であることから、塩田川沿いの遊歩道は将来的に塩田～姫野まで連続させることと、遊歩道沿いの桜並木創りを目標としており、可能な所からその実現を図っていく。

**公共施設の新築・建替えに合わせた、中心市街地の良好な環境づくり**

塩田地区の市役所（塩田庁舎）周辺において、社会文化会館の新築と合わせて、隣接する塩田中学校の建替えを行う計画が進められていることから、周辺の公共施設（市役所・図書館・歴史民俗資料館）や中央公園を含めて、利用しやすい、環境・景観的にも優れた、塩田地区の中心市街地に相応しい公共施設空間づくりを推進していく。

